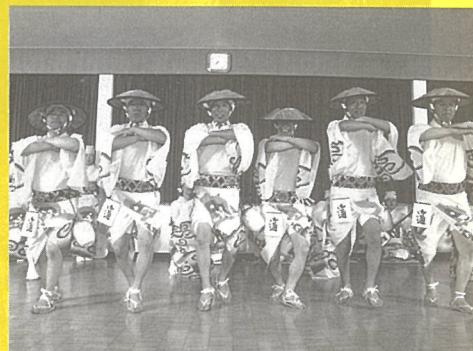


文化通心



今宵は満月、
さぬきばやし・
狐達の大集合

さぬきばやし・
狐踊りの

始まりー始まりー！

いるわ、いるわ、狐達／酔い加減も最好調！

おつとり狸にせつかち狸。生真面目狸にやん
ちゃん狸、そして、ちょびりエッチな狸おやじ。

今夜は特別。月夜の晩の無礼講。踊れや踊れ。

さあさあ、あなたも見ていいないで、今夜は
狸に大変身！

浮世の憂さも吹き飛ばせ。

日本民謡民舞東尾会

さぬきばやし保存会

1998年9月1日(季刊)

●発行所:

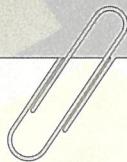
財団法人 中條文化振興財団

〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号

TEL.(087)826-3355 FAX.(087)826-2212

写真撮影/藤井照芳

中條文化振興財団の メッセージ NEWS⁽⁴⁾



フローフィール

江戸 健



1927年丸亀市生まれ。武蔵野美大で絵画を学んだあと、故猪熊弦一郎に師事。1975年渡仏。東京、高松、丸亀にアトリエを持ち、猪熊氏の現代感覚を受け継ぐ作風で知られている。新制作協会会員。

サロン・ドートンヌ会員。

自分の強さを表現する
のは、芸術以外にない。
そんなことが段々にわ
かってきた。そして、そ
れは偶然にも私に兵舎
の跡を描かせた。この頃
は油絵具も非常に高価
で、十五色くらいしか買
えなかつた。キャンバスも
おやじがどこからか調達
してくれたヨットの帆み
たいな布で、自分で作った。

うして?というよ

うなことを考

るべきだ。だから、

絵というものは自

分の気持ち、精神

なんです。

江戸 健先生を迎えて

数寄屋造りの空間で

作品に触れながらの、小さな講座

開催



七月二十四日(金)夜六時から中條財団の茶室「立礼席」で行われた美術講座。迎え入れた器の木のぬくもりと光の優しさは、修練の深さと感性の高さが一致したところにある江戸先生の作品と呼応し、四十名の受講者的心に通い合う。四十名の受講者的心に通い合う。真夏の猛暑を忘れさせるひとときとなつた。

「絵は無言の発言!」

—抽象絵画にめざめたとき—

絵は精神

今をさかのぼること五十年。

敗戦になつて私はすぐ寂しかつた。そして、自分なりに世の中を感じた。戦争に敗れたが、絵は、

文化はどんな軍事力で封じ込めようとしても封じられない。だから、京都は残つた。いかに敵国と言えども、それを大事にする。

生きる中で、一番の自信を持つて

んでですよ。あこがれなんですよ。この絵を描いた後、こんなメッセージを書いた。

『敗戦後の兵舎跡は、人影も土の中に消え去つたかのように寂しかつたが、残雪の空は澄み渡つて静かに時の流れを待つていた。風呂敷包みのわずかな絵具を取り出し、インゼルを立て、雲間に抜ける青空に夢を託して夕日の沈むまで絵を描いた。』

絵がわかるには五十年
家の経済的なこともあり、絵を描くのは実力、学校は関係ないと学校をやめ猪熊先生に師事した。猪熊先生には才能というものをひしと感じる。猪熊先生の才能がきらめいているのは、一つ二つのしぐさ、物の見方、目玉の止まり方、観察力、注意力、体から発する物、体の毛穴からフーッと発する力、そういうものはやはり優れた人からでないと入つてこない。猪熊先生に言われた。「必ず絵を描くんだたら、茶碗をとるか、土瓶をとるかの選択にかかる」と。画家を目指すには絵を進める道筋、進み方が大事だと言う。また、先生が亡くなる前に「絵が分かるには、五十年かかる」と言われたことは、頭にこびりついている。絵がわかると



いうのは、ことばでわかるのではない。

体から感じる、そういうものには五十年かかるんだと猪熊先生は言う。じゃあ、私も五十年になるから少し絵がわかつたのかなあ…と。その面では喜ぶ年になつたわけだけど、まだまだ五十年かかつて絵がわかつたと言つことにはならない。

抽象絵画への興味

戦後怒濤のように流れ込んだ新しい絵画の潮流には、原始絵画、プリミティブな壁画や土俗芸術に人間そのものの純粋な精神が宿されていることに惹かれ、今までの美しく描かれただけの絵画からの脱却が若い人々の眼を拓いてくれた。私も装飾古墳や古代の埴輪など博物館の土器や科学博物館の鉱石などに強く惹かれた。そこから新しい眼で絵を連想して、古代の美しい人間にあこがれ、そこに帰り、夢やリズム、強烈な色彩で自分を表現したいと思った。現代性が感じられた。

絵は一つの宇宙空間である。一滴の水が溜まってせせらぎとなり小川となる。それが支流となり高いところから低いところへ流れ本流となつて海に注ぐ。注いだ水はまた再び、この空間にスーと流れてくる。そういう一つの宇宙空間。一つの物がたくさん集まつて、大きさと広がりを持つたつのボリューム、量となる。私の絵はそういう原点を持つ。現代の絵画は一つの発言、メッセージである。

世の中に対するメッセージ、自分の心のメッセージ

(七月二十四日美術講座にて)



参加者の声

- 数寄屋で見る抽象と、魂そのものが声を出している先生の話…。1時間半がアツという間に過ぎ去りました。
- 今日は楽しくお話を聞くことができ、大変満足しています。「絵はメッセージ」という言葉が印象に残りましたが、現代画に限ったことではないのかも。完成した絵は単なる自己表現だけではダメですねエ。50年がんばりたいです。
- 江戸先生の講演は、初めてでしたので期待して出席させていただきました。50年の画家の人生だけあって、表面だけでなく、事の真髄が伝わってまいりました。もっと長ければ良かったと思います。すばらしい立派席の空間が、美意識を高めて、大変良い企画だったと思います。
- 体の中からあふれ出る、絵・芸術・文化に対する思いを直に聴き、感動を覚えました。62才の私などまだヒヨコでしょうか。絵を描きたいと思う気持ちが一段と高まりました。



「サヌカイト」

細い糸で吊し石と石を打ち合わせたり、マレットで打つとカーンと澄んだ音がする。又、摺り合わせるとシャラシャラと繊細な音も出す。通称「さぬきのカンカン石」学名「サヌカイト」。世界中に「サヌキ」を通用させる石である。

しかし、单なる石ではなく一個一個違った音を持つ楽器もある。太古の人たちもこの石音とともに暮らし、打ちたいたいとは喜怒哀樂を表したのかもしれない。現代の私たち、この石を組み合わせて大きな楽器をつくり、コンサートを開いて美しい音色を楽しんでいるし、個々人でも好きに組み合せてオリジナルな音をつくり出す喜びを味わえるのです。

こんなサヌカイトもまた讃岐の大地が私たちに与えてくれた「宝」の一つではないでしょうか。

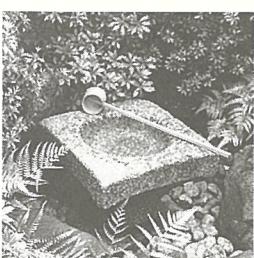
高松市音楽協会事務局長
千葉 規美子

財団行事あ・れ・こ・れ

朝茶事

八月三、四、九、十日の四日間、吉岡宗郁先生を席主にお願いし、朝茶事を行つた。それぞれ十名のお客様をお迎えし、初座・中立・後座と一刻の涼をお楽しみ頂いた。

茶の湯は「茶事で始まり、茶事で終わる」と言われている。ふだんの茶の湯の稽古は茶事の中から一つずつ部分的に取り上げて行われているため、点前のみを考えると不可解な点にいきあたることがある。そんな時に茶事の所作や手順、精神等を照ら



蹲踞 (つくばい)
手水を使うのは、精神を清らかにするということが第一の目的である。

諱口 (にじりぐち)
沓脱石にしゃがみ、扇子を前において席中をうかがい、席入。



客を敬い、客は亭主の露地や料理、道具などの数々の心入れをありがたく感謝しつつ語りあう。そして、亭主も客もこの一度となり一期一会を貴重なひとときとして過ごす。茶の湯とは茶事を楽しむこと——、そんな一日であった。

おもてなしは心を第一とする。亭主は初座と中立・後座で茶事は成立つ。

し合わせると、なるほどと解明する事が多い。客に一碗の濃茶をおいしく飲んでいたために、炭をおき湯相をととのえ、懐石をさしあげ腹中をととのえていただき、茶をふるまい、ふるまわれる。



「ゆかた茶会」

官翠会学生部

七月一~十六日(日)

「日常生活では味わえます。」
といい緊張感が好きです」と講師の妹尾共子先生。
官翠会佐々木博士さん。
社中の学生の皆さんで、自分達の手ぶりで、点前ぶりでした。

中條財団月会予定

(九月~十一月)

九月月会

「五感に届くコンサート」

とき 九月二十三日(水・祝日)

〔昼の部〕香席 十四時十分~十五時十分

ハープコンサート 十二時~十四時

〔夕の部〕香席 十五時三十分~十六時三十分

ハープコンサート 十六時四十分~十七時四十分

ハープコンサート 十七時五十分~十八時四十分

ハープコンサート 十八時四十分~十九時四十分

ハープコンサート 二〇時~二二時

ハープコンサート 二二時~二三時

ハープコンサート 二三時~二四時

ハープコンサート 二四時~二五時

ハープコンサート 二五時~二六時

ハープコンサート 二六時~二七時

ハープコンサート 二七時~二八時

ハープコンサート 二八時~二九時

ハープコンサート 二九時~二〇時

ハープコンサート 二〇時~二一時

ハープコンサート 二一時~二二時

ハープコンサート 二二時~二三時

ハープコンサート 二三時~二四時

ハープコンサート 二四時~二五時

ハープコンサート 二五時~二六時

ハープコンサート 二六時~二七時

ハープコンサート 二七時~二八時

ハープコンサート 二八時~二九時

ハープコンサート 二九時~二〇時

ハープコンサート 二〇時~二一時

ハープコンサート 二一時~二二時

ハープコンサート 二二時~二三時

ハープコンサート 二三時~二四時

ハープコンサート 二四時~二五時

ハープコンサート 二五時~二六時

ハープコンサート 二六時~二七時

ハープコンサート 二七時~二八時

ハープコンサート 二八時~二九時

ハープコンサート 二九時~二〇時

「地元高松のことを楽しく体感してもらいたい。新しいものでも、全国に誇れる譜岐があることを知ってもらえばー」と講師の妹尾共子先生は、財団の茶室での研修会を企画してくださった。



「市民学校転勤奥さま教室」

六月二十四日(水)



とき 十月十一日(日)
主席 佃輝 宗匠
内容 一茶菴 佃輝 宗匠
玉露席 一眼一煎濃茶席
点心酒亭席

午前九時二十分より八席
定員 各席十五名(全席時間指定)
席料 一万二千円

〔茶菴とは〕古くから連歌やたて花、茶の湯などを伝承していた家だが、幕末の十二代良甫が、煎茶をもとに「文人趣味」によって諸芸をまとめ有栖川宮威仁親王によつて「茶菴」と名づけられた。「文人趣味の煎茶、花」はもちろん「文人趣味の茶の湯」をも継承して、自由な語らいと美しさを求める「文人趣味」の流儀として知られている。

〔佃輝宗匠〕茶菴宗家の継承者。別号は無様。古典から現代まで、美的で幅広い表現は定評がある。ことに経済人と煎茶茶事「清桃」を定期開催。セザンヌ、ピカソやウォーホル、ボロックなど中国官窯陶磁器の名品との大胆アーティスティックな取り合せが注目されている。その茶会はたびたびテレビ、雑誌でも取り上げられているが、一九九五年には「婦人画報」で年連載されて話題となつた。昨年の大阪市立美術館での「煎茶展」につづき、今年十月、十一月には三菱岩崎コレクションの静嘉堂文庫美術館で

中條晴夫

回想録

リレーエッセイ④

佐々木 正夫

PROFILE

1926年3月21日生

国鉄四国総局（JR四国）広報課長を経て
交通新聞四国支局長（94年退職）。

現在、壱井栄文書館長。61年全国国鉄総裁賞（小説）、95年香川県文化功労者、97年文部大臣地域文化功労者。著書に小説「白い雲」など。



中條会長のこと

中條会長とわたしは、同じ琴平町の出身。
そして、丸亀高校の後輩だということで、反
省はしているが、少し、あまえさせていただ
いていた。

高松などでの会議のときは「会長さん」と
お呼びしていたが、「一人でお話するときは「中
條さん」だった。そのほうが、言いやすかった。
「しっかりやりますよ」

大先輩に、何度も言われたことか。

中條さんは、大正十二年三月、旧制丸亀

中学校（現代の丸亀高校）卒。中学時代の
同級生に平尾勘市・元善通寺市長や郷土
史家の草薙金四郎先生がいた。「草薙クン、
どなんしよる」と同じ琴平在住だけによ
く聞かれたものだ。

「先日、平尾市長らと中国の西安へ行きました。
そのときの写真を送つてあげると、翌日、
お礼の電話をいただきました」というと、「そ
ういうことが、ちゃんとできる人や」一同窓
をほめる。

草薙先生が亡くなられたとき、わたしは
通夜の席を早くおいたしました。役場の人の
話では、「中條さんは友だちおもいですね。
お忙しい方なのに、お通夜の最後までおら
れましたよ」一同窓と別れを惜しんでいら
れたのだ。

中條さんは、経済人として常にトップの
座でおられた方だが、わたしは「文化人」
中條さんの死を惜しむ。

初代、高松市文化協会会長は、よく似合つた。
菊池寛顕彰会の会長は歴代高松市長が兼
務させていたが、脇市長のご意志で「会長
は民間から」と言われたとき、理事会で満
場一致推されたのが中條さんであった。

わたしは、中條さんが亡くなられたあと
設立された琴平町文化協会の会長を務め
ている。中條さんが県文化協会連合会長を
なさっていたときなら、喜んでいただけたの
にと思う。

（遅れましたが、琴平町も結成しました。
県連合会に加入します） 生前の中條さん
にご報告できなかつたことが悔やまれる。
「しっかりやりますよ」—中條さんの声が
聞こえる。

（作家・日本文芸家協会会員）

九月月釜（9月23日）

五感に届くコンサート

ハープの音色・お香の香り、そして舌にうれしい料理。秋の一日、五感を
刺激してみませんか。

〔ハープ演奏〕

Carroll McLaughlin
キャロル・マクラフリン

14歳でカルガリーフィルハーモニー管弦
楽団の首席ハーピストを務める。ジュリ
アード音楽院にてスザン・マクドナルド
に師事し卒業。カナダ、アメリカ、ヨー
ロッパ、日本等でのソロやオーケストラとの
共演、1993年世界ハープ会議のオープ
ニングのリサイタルなどで好評を博す。

また、クラシックのみならず、ジャズハーピストとしても世界的に名高い。
現在、アリゾナ州立大学ハープ科教授。



〔香席〕

高木民枝
(たかぎ たみえ)
志野流香道直門師範。
NHK京都・広島・福山各
文化センター講師。大阪
朝日カルチャーセンター
講師。
沖縄教場講師。

〔点心席〕

頼川邦子
(えがわ くにこ)
料理研究家。ライフコーディネーター。
NHK「今日の料理」講師。家庭画廊、婦人
画廊他雑誌に簡単で美味しい家庭料理を
発表。茶道は官休庵、香道は志野流直門。
東京と西宮で料理教育主催。
Jhon Robert Powers Schoolのマナー講師。
(ボストン フィニシングスクール)

タザリの茶事

とき 9月18日(金) 17:00～・9月19日(土) 17:00～
主席 楽茶俱楽部
定員 一席12名 席料 15,000円

夜咄の茶事

とき 11月7日(土) 17:30～・11月8日(日) 17:30～
主席 武者小路千家官休庵 三宅守真宗匠
定員 一席12名 席料 32,000円

正午の茶事

とき 11月9日(月) 11:00～
主席 武者小路千家官休庵 三宅守真宗匠
定員 12名 席料 32,000円

とき	内容	席主	内 容	席主
定員	薄茶席	官休庵	官休庵	守眞会
席料	八千円	八時三十分より八席	八時三十分より八席	八時三十分より八席
すべて予約制となります。				
お申し込み、お問合わせは、 当財団事務局まで				
電話 (087) 826-3315				

「煎茶展」の企画指導。ロンドン大学や国立国際日本文化研究センターなどの研究と紹介のための取り組みも多。
主な著書に「煎茶の旅～文人の足跡を訪ねて」(朝日カ
ルチャーブックスなど)。

茶華道ガイド

高松市茶華道協会 ☎(087)831-6412

11/28~29 市民文化祭秋の茶会といけ花展 玉藻公園披雲閣 9:00~15:30
 華展 250円 茶券 450円
 茶席 11/28 一茶庵流香川県支部 氏家一成社中 横の間
 11/29 表千家同門会香川県支部 秋山宗彩社中 横の間

華道家元池坊香川県連合支部 ☎(0877)22-7203

9/15~21 中国・四国展 広島市そごう 10:00~19:00 900円
 9/26~27 華道家元池坊支部花展 丸亀市民会館 9:00~17:00 無料
 11/20~24 池坊家元全国大会 池坊会館・ウエスト18・京都高島屋
 9:00~17:00 700円

一茶庵久松会 ☎(087)885-2322

11/8 一茶庵久松会小松一優師追悼茶会 玉藻公園披雲閣
 (抹茶席・煎茶席) 9:00~15:00 1,000円

小原流高松支部 ☎(087)833-9274

11/29~30 小原流高松支部いけばな展「花のシンフォニー…秋」
 丸亀町レツツ1F・2F 10:00~19:00 無料

香川いけばな連盟 ☎(087)831-0452

10/18 屋島ライオンズ茶・花展 玉藻公園披雲閣 9:00~15:30

オイスカ四国支部香川婦人部 ☎(087)831-3400

11/15 第16回オイスカ茶会 天神会館 (八本松)
 9:30~15:30 席主 石洲流 石原宗恵先生 700円

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

11/15 チャリティ茶会 善通寺市民会館 10:00~15:00 1,000円

文甫会 ☎(087)841-2672

10/30~11/2 香川県華道協会 秋の華展 文化会館 9:30~16:30 700円

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

9/6 香川官休会 月金 9:00~15:00 席主 古市敏子 本覚寺 500円
 9/13 こんびら 月金 9:00~16:00 席主 竹井清子
 琴平町小松町松尾寺
 10/4 香川官休会 月金 9:00~15:00 席主 後藤 栄 本覚寺 500円
 10/25 香川官休会大会 9:00~15:00 薄茶2席 玉藻公園披雲閣 1,200円
 11/1 香川官休会 月金 9:00~15:00 席主 香川シズ 不覺寺 500円

イベントガイド

オリーブホール ☎(087) 861-0467

9/16 ボブデュランコンサート ●
 10/10~11 矢沢永吉ライブ ●
 11/13~14 サニーデイサービスライブ ●

高松市歴史資料館 ☎(087) 861-4520

~9/20 特別展「たかまつ香西のまつり」 9:00~●
 11/14 特別展「弘憲寺の名宝展」 9:00~●

玉藻公園管理事務所 ☎(087) 851-1521

9/20 赤旗囲碁・将棋大会
 9/23 濑戸内珠算親善大会
 11/3 高松市民文化祭文芸大会
 11/21~23 高松市民文化祭囲碁・将棋まつり

高松市美術館 ☎(087) 823-1711

~9/6 水木しげると世界の妖怪展 9:00~●
 9/18~10/25 リキテンスタイン 一版画の宇宙一展 9:00~●
 11/3~ 開館10周年記念一ロダン展 9:00~●
 10/3 珍しいキノコ舞踏団 エントラス・ホール 18:30~●
 11/17 古典四十奏団 エントラス・ホール 18:30~●

高松市民会館 ☎(087) 839-2888

9/5 穴吹フィットネスクラブ
 第14回ダンスフェスティバル
 吉本新喜劇エクスタシーアー
 香川公演 15:00~・18:30~●
 9/15 関口ジャズダンスセンター ●
 20周年記念公演 13:30~●
 10/4 高松市民文化祭市民芸能まつり 13:00~●
 10/15 高松市戦争犠牲者追悼式 14:00~●
 10/18 高松市民文化祭 音楽まつり 13:00~●
 10/24~25 高松市中小企業労働者福祉共済事業 ★
 福祉共済ショー
 24日 14:00~・17:30~
 25日 12:00~・15:30~
 10/30 ミュージカル「パパは家族の用心棒」 18:30~
 11/1 高松市民文化祭演劇公演 13:00~●
 11/3 高松市民文化祭洋舞公演 13:00~●
 11/8 高松市民文化祭日本舞踊公演 10:00~●
 11/15 高松市民文化祭民踊まつり 13:00~●

香川県文化会館 ☎(087) 831-1806

~9/20 文化会館コレクション展 9:00~●
 9/20 華盛品による藤川勇造展 9:00~●
 9/14 古今亭志ん朝独演会 18:30~●
 9/26~10/25 目黒雅叙園美術館コレクション ●
 美人画にみる風俗展 9:00~●
 9/26~10/25 香川の現代作家シリーズ29 ●
 平田ゆたか展 9:00~●
 10/30~11/2 香川県華道選抜秀作展 9:00~●
 11/7~11/29 高松工芸高校の作家たち展 9:00~●
 11/7~11/29 香川の現代作家シリーズ30 ●
 葛西 崇展 9:00~●

セントラルホールウイング ☎(087) 833-0005

9/6 NLA全国高校生の主張香川県大会 13:00~●
 9/12 第13回お年寄のための健康講演会 10:00~●
 9/19~20 陶芸展 19日 11:00~・20日 10:00~●

高松市図書館 ☎(087) 861-4501

9/5・10/3 なかよしかみしばい 1Fおはなしのへや 14:00~●
 9/9・10/14 にこにこおはなしひろば 1Fおはなしのへや 15:00~●
 9/26・10/24 伝々虫のおはなし会 1Fおはなしのへや 14:00~●
 9/26 郷土文化サロン 藤井洋一
 「シカ・イノシシと鉄砲」3F第1集会室 14:00~●
 10/17 第3回ブックトーク講習会 ●
 北畠博子氏 3F第1集会室 14:00~●
 児童文学講演会田島征彦

菊池寛記念館 ☎(087) 861-4502

9/5 文芸講座「私の文学河西新太郎先生」 ●
 3F第1集会室 13:30~●
 9/25~11/3 特別展「瀬戸ゆかりの作家・西村望の世界~」●
 4F特別展示室 9:00~ (9/25のみ 10:00~)
 10/3 文芸講座「諸葛の女性」3F第1集会室 13:30~●
 10/4 文学講演会講師西村望さん (演題未定) ●
 3F視聴覚ホール 14:00~●
 11/7 文芸講座「アメリカ文学からの視点」 ●
 3F第1集会室 13:30~●
 11/29 菊池寛ドラマ賞受賞作品公演 ●
 「安政の遠足異聞 あんせいのとおあいのぶん」
 高松市民会館 13:00~●

高松テルサ ☎(087) 844-3511

9/6 香川現代邦楽研究会
 第20回定期演奏会 13:30~●
 9/9 ピアノ・打楽器ジョイントコンサート
 9/12 はなぶさ会ビアノ発表会 12:00~●
 9/23・26・27 10/3・4・5・25
 第15回香川ジュニア音楽コンクール 9:30~●
 10/24 あなたもピアノのコンクールにアッタク 9:30~●

ミュースホール ☎(087) 833-0013

9/15 ミュージックヤングフェスティバル'98 13:30~●
 10/23 ピアノ・コンサート (有森博) 18:30~●
 11/2~5 ドビュッシー・ピアノ作品 全曲演奏会 19:00~●
 11/7 ピアノデュオコンサート 18:30~●

四国ガスピボット ☎(087) 821-0248

9/9 イタリア料理講習会 10:00~●
 9月~11月 料理教室開講 ●
 A 広東料理 (閑克己) ●
 9/10・10/8・11/12 9:30~●
 B 手作りケーキとお茶教室 (毎回ゲストを迎えて) ●
 9/24・10/22・11/26 10:00~●
 C ヘルシークリッギング (安部直美) ●
 9/11・10/9・11/13 10:00~●
 D パン教室金曜日コース (小西弘子) ●
 9/4・10/2・11/6 10:00~●
 E パン教室土曜日コース (小西弘子) ●
 9/5・10/3・11/7 10:00~●
 9/1・10/6・11/10 ピボットカルチャー教室 ●
 「生活の中の花俱楽部」 10:00~●
 9/21・10/19・11/16 ピボットカルチャー教室 ●
 「ハーブを楽しむ会」 13:00~●

香川県県民ホール グランドホール ☎(087)823-3131

9/2 スピッツコンサート 18:30~●
 9/5 '98かがわまなびフェア ★
 第11回県民スポーツ・レクリエーション祭
 合同オープニングセレモニー 12:30~●
 THE YELLOW MONKEYコンサート 18:30~●
 香川県県民ホール文化事業
 松竹大歌舞伎 13:30~・18:00~●
 松竹特別公演「大文字の火」13:00~・17:30~●
 相川七瀬コンサート 18:30~●
 香川県県民ホール文化事業「王女メディア」15:00~●
 玉置浩二コンサート 18:30~●
 ちえ歌教室チャリティ発表会 10:00~●
 反町隆史コンサート 18:30~●
 セルゲイ・ナカリヤコトランベッソ・リサイタル 18:30~●
 神野美伽コンサート 14:30~・18:30~●
 大正琴の祭典 第6回琴城流四国地区大会 9:40~●
 藤井フミヤコンサート 18:30~●
 香川県県民ホール文化事業「国立パリ管弦楽団」14:00~●
 THE ALFEEコンサート 18:30~●
 福山雅治コンサート 18:30~●
 松山千春コンサート 18:30~●
 古内東子コンサート 18:30~●
 森高千里コンサート 18:30~●
 第7回「心の詩」コンサート 14:00~●

香川県県民ホール アクトホール ☎(087)823-3131

9/12 香川医科大学管弦楽団 ■
 第12回定期演奏会 18:30~●
 第13回日本フルートフェスティバル ●
 inかがわ 14:00~●
 朝日上方落語会 14:00~●
 コレギュム・ムジクム高松演奏会 18:30~●
 香川県県民ホール文化事業 岡田昌巳 ●
 フラメンココンサート 18:30~●
 國際文化友好協会文化講演会 12:30~★
 劇団タイムステップ ●
 第4回公演 14:30~・18:30~●
 日舞喜之会公演 10:30~●
 ライチャッピ・ガヴァントハウス 八重表団演奏会 18:30~★
 倉本英雄氏・龍村仁氏講演会 13:00~●
 増田景子フルートアンド オーボエコンサート(仮) 15:00~●

宮武画廊 ☎(087) 851-2354

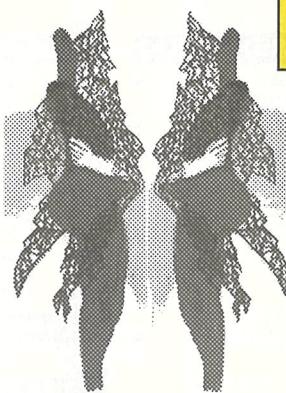
9/7~13 第44回うすずみ会 (日本画) ■
 第15回香川陶光会 (陶芸) 合同展 ■
 第26回二科会香川支部写真展 ■
 第15回讃岐木楽会作品展 ■
 第8回新日本美術協会香川支部小品展 (仮称) 大木裕之作品展 ■
 10/5~11 10/12~18 赤松彥金教室展 ■
 10/19~25 第16回香川風の会写真展 ■
 10/26~11/1 拙話契会写真展 ■
 11/2~9 矢野由美子個展 ■
 11/9~15 日本の風景シリーズ「日本秋景」新名宣昭風景画展 ■
 11/16~22 第6回Mardi作品展 ■
 11/23~29 佐藤雅鬼写真展 ■

第40回香川県芸術フェスティバル'98

四十年ぶり、野掛けの木偶芝居復活

テーマ「交流と創造—さぬき新創造—」
 ▼主催公演 10月24日(土)～11月8日(日)
 参加公演 10月10日(土)～11月8日(日)

今年の芸術祭は
生まれ変わりました。



香川日独協会による 「ドイツ週間」 ～ドイツに触れてみてください～

10月25日(日)丸亀町 ヨンデンプラザ

▶ドイツのお好み焼き「レーブケーヘン」を作りましょう。

3F料理教室 13:00～ 参加費 500円

講師 Bonn独日協会副会長 Marianne Mönch

▶「ドイツの街」スライドとお話

3F研修室

▶ストリートオルガン演奏

ロビーにて 川崎昭子

11月1日(日)アイパル香川

▶講演会「Göttingenに1/4世紀くらして」13:00～

講師 高野光司

ドイツGöttingen・大学名誉教授・高松短大教授

▶講演会 「おもちゃたちと、ともに」15:00～

講師 Rosemann夫人 ヘッセン人形博物館館長

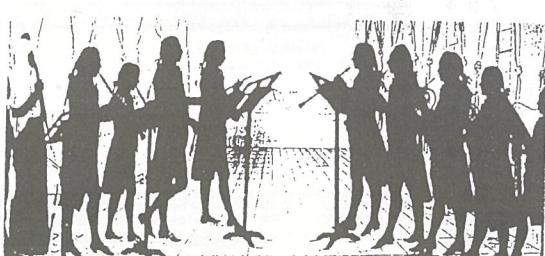
問い合わせ先 香川日独協会 中村 敏子

TEL・FAX(087)861-6820

高松・トゥール姉妹都市提携10周年
「日本におけるフランス年」公式プログラム

フランス宫廷音楽合奏団 『アンサンブル・フィリドール』高松公演 Ensemble Philidor

古楽器が奏でる 宮廷の調べ



友情出演：島田芸術舞踊学校

1998

10|31

18:00開演 (17:30開場)

高松テルサ

(料金：全席自由 2,000円)

お問い合わせ：(財)高松市国際交流協会 TEL(087)837-6003

「声・情報お寄せください」
 〒760-0017 高松市番町二丁目一十二
 財中條文化振興財団編集部
 TEL(087)826-3355
 FAX(087)826-2212

人生とは何かを計画している時に起きてしまう、別の出来事を言う。実は、人生何が起こるかわからないからこそ、この瞬一瞬を大切にしたい。人、出会い、喜び、時間、自然を、と言うことであろうか。瞬一瞬のかけがえのなさ。茶の湯の「一期一会」にも通じることなのである。言葉でわかつても、体でわかる道は遙か、遠い・遠い……。

三木町の人形劇
研修所木偶塾のメ

ンバーは七月二十日夜、昭和30年頃ま



親子で演じるえびす回し

で農漁村で盛んだつた、野掛けの人形芝居を再現し、集まつた地元の人達を楽しませた。

昭和40年には日本郷土民謡協会の全国大会での予定で30回記念公演を行う。

「さぬきばやし・狸踊り」は、屋島寺の境内で、毎中秋の名月の晩四国の八百八狸が集まつて大競演行つた、との伝説をもとに、その様子を唄と踊りにしたものである。

映画「地球交響曲ガイアシンフォニー第三番」を観た。画面から押し寄せる言葉、表情、想いが体全体に浸み通り、毛細血管にまで何かが届いてくるような思いにかられた。

あなたも今年はゲイジユツ家。演劇、音楽、美術、映像、芸能、参加乞う。

問い合わせ先 香川県芸術祭運営委員会事務局
TEL(087)831-1111
内線3285
席券
と
き
九月十一日(金)
十二時四五分～十五時二十五分
ところ
一般二百五十円 生徒百円

第十七回 ふれあい茶話会

二宮中学校では文化祭の一環として、毎年

テーマを決めてお茶会を行う。地域の人とのふれあい、親子のふれあいを「服のお茶で楽しむ。今年のテーマは「虫の声」。

東尾流30回記念「日本民謡・民舞の祭典」
と
き
平成十年十月十一日(日)十時三〇分～
ところ
高松市民会館
ゲスト
島根県郷土芸能「石見神楽」他
料
金
(当日)三千五百円 (前売り)三千円
問い合わせ先 東尾会館
TEL(087)821-5211

編集後記